2026.9 vol.96

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

こうちクロス

高知赤十字病院
広報誌

ご自由に
お持ち帰り
ください



特集：乳腺センターのご案内

高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

患者さんの権利

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 患者さんの権利
- 医療における「子どもの権利」
- 障がいがある方の権利

患者さんの責務

当院では、患者さんの権利を尊重するとともに、協力もお願いしています

詳しくは当院ホームページをご覧ください
https://www.kochi-med.jrc.or.jp/about/about.htm

乳腺センターのご案内



高知県民が安心できる乳腺の診療を提供するために、高知赤十字病院 乳腺センターを設立しました。
乳がんの診断と治療は、画像診断による乳がん検診に始まり、一人ひとりのがんの性質に応じて、手術療法・薬物療法・放射線療法を適切に組み合わせて治療を行います。
患者さんとその家族の意向を尊重しつつ、エビデンスに基づいた医療の提供が重要であり、医師だけでなく看護師や薬剤師などいろいろな職種が積極的に介入させていただき、チーム医療として質の高い医療を提供します。

センターでの主な診療内容

外 科

- **マンモグラフィー検診や乳房超音波検診で要精査となった方の精密検査**
- **乳腺腫瘍や乳癌の診断がついた方の治療**（手術・薬物療法）
- **乳癌の術前＆術後の薬物療法**
- **乳癌術後フォロー**
  （＊地域の医療機関と連携しフォローを行います）



形成外科

- **乳癌手術と同時の乳房再建**
  （＊自家組織再建・インプラント再建どちらも対応可能）
- **乳癌術後しばらく経過した後での乳房再建**
  （＊自家組織再建・インプラント再建どちらも対応可能）
- **乳頭乳輪再建**
- **乳房再建術後のフォロー**

放射線科

- **乳房温存術後の温存乳房への放射線治療**
- **骨転移等による疼痛部位への疼痛緩和目的の放射線治療**
- **他院で撮影した画像診断**

病理診断科

- **乳腺疾患の病理診断**
  （針で穿刺・吸引して得られた病変の細胞や、外科的に採取された病変の組織を顕微鏡で拡大して調べ、病変が何であるか・その広がり等を診断します）
- **個別化医療のためのマーカー判定**
  （ホルモン受容体やHER2などの評価）

当院の特徴

診療科・職種の垣根を越えた連携

医師だけでなく、看護師、薬剤師、リハビリスタッフなどが対等な立場で情報を共有し、治療を支える体制を整えています。



スタッフ

がん看護専門看護師、外来看護師、病棟看護師、外来治療室看護師

臨床検査技師、細胞検査士、診療放射線技師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、メディカルソーシャルワーカー



乳房再建にも注力

自家組織による乳房再建を積極的に行っており、乳房再建症例の９割以上が自家組織再建です。形成外科との密接な連携により、整容性にも配慮した治療を提供しています。



県内唯一の女性専用病棟

女性看護師による病棟運営に加え、乳がん診療に関わる検査・リハビリスタッフも原則女性としており、安心して治療を受けられる環境を提供しています。

EBM（科学的根拠）と テーラーメイド型医療の両立

科学的根拠に基づく標準治療を基本としながらも、患者さんの価値観や生活背景を尊重した個別化医療を実践しています。

診察日

外　　科：月・火・木曜日（完全予約制）
形 成 外 科：火曜日（完全予約制）
放 射 線 科：火曜日（完全予約制）
病理診断科：病理検査依頼に応じて適宜



予約について

乳腺に関するものは、まず乳腺センターにお問い合わせ、もしくはかかりつけ医よりご紹介をお願いします。その後、乳腺センター地域医療連携室と各科の医師が日程を調整し、紹介先 or 患者さんに予約日と予約時間をお知らせします。

患者さんへのメッセージ

乳がん治療は長い時間をかけて向き合っていく必要があります。そのため初診時から診断や治療、その後の療養生活の中で様々な不安や迷い、思いが生まれることも少なくありません。乳腺センターでは、患者さんやご家族がひとりで抱え込まず、安心して治療を続けられることを大切にしています。その方らしい生活が送れるように、多職種で連携し長い治療の道のりをチームで支えていきます。

放射線ゼロで痛くない！

無痛 MRI乳がん検診

詳しくは、
ホームページ または
健康管理センター
までどうぞ





特徴は…

- 乳房を器具で挟まないので痛みはありません
- 検査着のままうつ伏せで撮影します
- 撮影時間は約20分です
- 被ばくの心配はありません
- 豊胸術や乳房の手術後でも検査ができます

HPは
こちら➡

▶ 日　時　毎週水曜・金曜　15時･15時30分
▶ 料　金　22,000円（税込）
▶ お問合せ窓口　高知赤十字病院　健康管理センター　TEL：088-871-3602







呼吸器内科ではCOPDと間質性肺炎の専門外来を始めます

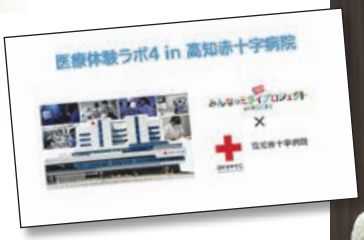
- 息切れがあるけれどCOPD（肺気腫、慢性気管支炎）だろうか…
- COPDの治療をしているけれど、今はどんな状態だろう…
- 間質性肺炎疑いの肺の影を指摘されたけれどどうすれば…

こんな方は、かかりつけ医にご相談ください

※かかりつけ医より予約をおとりします

	外来実施日	時　間	担当医
C O P D	第１、第３水曜日	13:30－15:00	青井（中西）
間質性肺炎	第２、第４水曜日		豊田（森住）

「医療体験ラボ4」を開催しました























８月１日に「医療体験ラボ４」を開催しました。

今年も県内外から多数の応募がありました。知名度も年毎に増してきているようです。

医療の道を志す県内の高校生とその保護者が参加し、内視鏡体験、手術支援ロボット「ダヴィンチ」やマイクロサージャリーなどの手術体験、救命処置体験、調剤体験をしてもらいました。手術室は未知の世界であったようで、目を輝かせて手術体験や救命処置体験していただき、楽しみながら医療に触れてもらうことができたと思います。救命処置は家族の方にも参加していただき、実際に役立つものとなるようにと本年から取り入れました。保護者にも体験いただき、実際遭遇してしまった際のイメージができたとの声が多かったです。質疑応答では、医師の偏在化についてどう思うかや研究者になるには何が必要かなど、高校生離れした質問もあり、回答者が頭を悩ますくらい、熱心に将来を考えているようでした。

今回の体験を機に、さらに医療に関心を持ち、いずれ一緒に働くことができればと思えるような、参加者だけでなくスタッフにとっても有意義な時間であったと思います。

消化器内科　金澤　俊介



県内初 前立腺がんのPSMA療法はじめました

全身のリンパ節や内臓および骨に転移した前立腺がん症例に放射性薬剤を投与する新たな治療法「PSMA療法」を県内で初めて導入しました。

この治療法は放射性リガンド療法で、国内では、小腸や膵臓の神経内分泌腫瘍に対して認可された治療に続き、前立腺がん治療でも認可されました（使用薬剤は異なり、プルヴィクト®になります）。患者のQOL（生活の質）の向上に寄与したり、がんの進行を遅らせたりすると期待されています。

前立腺がんは尿道を取り囲むようにあるクルミ大の臓器（前立腺）にできるがんで、国立がん研究センターの「がん情報サービス」によると、男性に最も多いがんであり、年間の国内の新規患者は10万人以上、死亡者数は１万3000人に上るとされています。

前立腺内にとどまる時期に診断された場合は、手術・放射線・粒子線などによる根治を目的とした治療を選択することで、診断後の５年間に生存する人の割合を示す「５年相対生存率」は高い一方で、内分泌治療（ホルモン療法）が効かなくなり、全身の骨やリンパ節・臓器に転移した「転移を有する去勢抵抗性前立腺がん」に移行したと診断されると、以後の治療に難渋し、生存期間も短縮する傾向にあります。

あらたに導入したPSMA療法は、検査によってPSMA陽性が確認された転移を有する去勢抵抗性前立腺がんの症例が適応となります。前立腺がん細胞に多く存在するPSMA（前立腺特異的膜抗原というタンパク質）に結合する放射性薬剤を点滴や注射で投与し、前立腺がん細胞を標的とします。PSMAに結合した薬剤が、がん細胞に取り込まれ、放射線（ベータ線）を放出し、がん細胞内のDNAを攻撃する仕組みです。



治療期間は約８か月で、６週間ごとに１回、計６回の治療を、それぞれ３泊４日で行う計画で、からだから放出される放射線量が基準以下になっていることを確認し、退院となります。

プルヴィクトによる治療全体のスケジュール

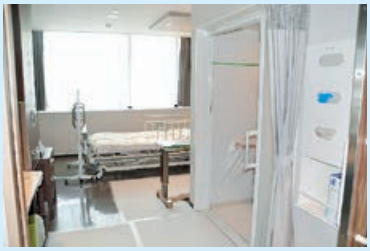


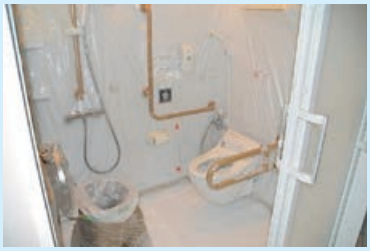
出典　ノバルティスファーマ株式会社

去勢抵抗性前立腺がんに対して、これまでおこなわれてきた抗がん剤治療他と比較した利点については、副作用や治療頻度が少なく、患者の負担を減らせるのではないかと考えられます。またQOLの向上や生存率の延長に寄与できることが期待されます。

当院では、放射線を扱う専用の病室を１室用意し、年間に６人程度の治療を目指しています。保険が適応される治療で、また高額療養費制度で患者さんの自己負担額は軽減される見通しです。

これまで、PSMA療法を求めて、日本からは豪州に渡航する症例がみられましたが、今後は国内での治療が標準化され、国内での治療選択肢を増やすことになると期待されます。





副院長　奈路田　拓史

こうち微生物学展に参加しました!!

検査部　林　菜穂





８月15日、オーテピアで行われた「こうち微生物学展」に検査部 樫本と林がスタッフとして参加させていただきました。このイベントは近森病院の先生をリーダーに、医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師・県職員・事務の皆様と高知県の子供たちに〝菌〟や〝抗菌薬〟について正しく知ってもらうことを目的に開催されました。

イベントでは「人の体に存在している菌について」や「人に悪さをしてしまう菌について」「抗菌薬や薬剤耐性菌について」などのパネル展示や、本物の寄生虫の見学ブース・菌のカードゲームなど大人も夢中になる内容でした。最も盛況だったのは、子供たちに自分の口の中の菌を直接顕微鏡で見てもらう「グラム染色体験ブース」です。グラム染色とは菌をグラム陽性菌である紫とグラム陰性菌である赤色に染め分ける方法で、デンマークの細菌学者であるグラムさんによって発案された方法です。子供たちに口の中を綿棒で拭ってもらい、スライドガラスに塗布した後、一緒に染色を行い顕微鏡で観察しました。驚いたのは子供たちが菌の名前をたくさん知っていたことです。どこで覚えたの？と尋ねると「はたらく細胞で見たよ！」と教えてくれました。親御さんたちは子供たちの菌を直接見れたことが貴重だったようで、スマホに保存したい！と菌の写真をたくさん撮っていました。私達には見慣れた菌ですが、参加者の皆さまには貴重な菌であることが不思議でもあり、興味を持ってくださった姿に大変嬉しく思いました。お盆の期間ではありましたが、予想を上回る200名ほどの皆さまにご参加いただき、嬉しい悲鳴を上げる場面もありました。





安易に抗菌薬を使用することで薬剤耐性菌は生まれ、広がってしまいます。今回のイベントのように講義のみではなかなか頭に入らない内容が、身近で体験して学んでいただけることで、薬剤耐性菌を広げないためにどうすればよいのか？子供たちの未来に薬剤耐性菌の蔓延を防ぐために何が必要なのか？正しい知識を習得していただけたと思います。

今後もこのようなイベントに積極的に参加することで、薬剤耐性菌や抗菌薬の正しい知識をお伝えし、高知県の皆さまが安心して暮らせる地域づくりに取り組んで参りたいと思います。



ESGE days 2026 に参加して

消化器内科　横川　彩子





ESGE（European Society of Gastrointestinal Endoscopy）days 2026（欧州消化器内視鏡学会総会2026）が2026年5月14日～16日にイタリア・ミラノで開催されました。私は早期胃がんに対するAIを用いた他施設前向き共同研究について発表を行いました。近年、AIを活用した早期胃癌診断支援システムが複数開発されていますが、実臨床では偽陽性が問題となり広く普及していないのが現状です。今回私たちは実臨床におけるリアルタイム内視鏡診断でのAIの有用性を検証するため、順天堂大学、大阪国際がんセンター、岡山医療センターと共に他施設共同研究を行いました。その結果、早期胃癌の診断にAIを活用することで、内視鏡医の診断精度が複数の評価項目で向上することが示されました。臨床現場で使用するには改善すべき点が多いですが、実用化が進むことで、施設や地域による診断精度の差を縮め、全国どこでも質の高い内視鏡診療を受けられる環境づくりに繋がることが期待されます。最後に、このような国際学会で発表する機会をくださった内多先生をはじめ、多くの先生方に御礼申し上げます。今後も高知赤十字病院から国内外へ日々の臨床・研究の成果を発信していけるよう努めてまいります。



日本消化器内視鏡学会四国支部例会で最優秀演題賞を受賞しました

研修医　尾原　健太

6月の第136回日本消化器内視鏡学会四国支部例会で「膵腫瘍が否定できずERCP下膵管内生検により診断し得た膵管内放線菌症の一例」を発表し、最優秀演題賞を受賞しました。画像上は膵腫瘍が疑われた症例に対し、内視鏡検査による診断で外科手術を回避できた事例です。ご指導いただいた消化器内科の先生方、特に大家先生に深く御礼申し上げます。この受賞を励みに、今後も日々の研修と学術活動に邁進します。



研修医の採用に向けて、県外の合同説明会に参加しました。

毎年、高知県内の医療機関合同で出展し、一丸となって、高知県で行う臨床研修の魅力をPRしています。





坂本龍馬に扮した研修医も大活躍し、今年度は、時折順番待ちができるほどの大盛況でした。

高知県での研修を考える医学部生が一人でも多く増えることを願い、これからも活動していきます。



令和８年度　情報セキュリティ集合研修を実施しました

医療情報管理課

６月29日(月)、「最新の情報セキュリティリスクについて」のテーマで高知県警のご担当者様にご講演いただきました。

ランサムウェアなど、サイバー犯罪の最新の動向や、具体的な手口、我々が身を守るための実践的な対策などについて大変わかりやすく丁寧にご解説いただき、セキュリティ意識の重要性を改めて深く認識いたしました。

研修には多くの職員が出席し、情報セキュリティ対策の重要性を改めて共有できました。今回の研修成果を活かし、より一層のセキュリティ体制の強化と、犯罪被害の未然防止に継続して努めていきたいと思います。





「X線CT認定技師」資格を取得しました

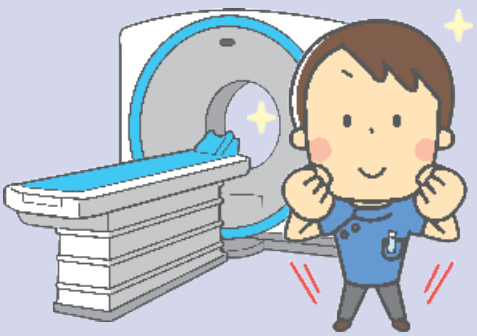
第一放射線科部　小松　悠哉

このたび、CT検査に関する専門的な知識と技術を認定する「X線CT認定技師」の資格を取得いたしました。

近年、CT検査は診断において重要な役割を担っており、高画質な画像を短時間で取得するとともに、被ばく線量の最適化や造影剤の適正使用など、安全で質の高い検査が求められています。今回の資格取得を通じて、CTに関する専門知識や最新の撮影技術、画像評価、安全管理について改めて深く学ぶことができました。



今後は、学んだ知識と技術を日々の検査業務に活かし、一人ひとりの患者さんに安心して検査を受けていただけるように努めてまいります。また医師が診断しやすい高品質な画像を提供するとともに、被ばく低減や検査時間の短縮にも取り組み、より安全で信頼される医療の提供に貢献していきたいと考えています。これからも自己研鑽を重ね、放射線技師として技術向上に努め、地域医療に貢献できるように努力してまいります。



CAFE CROSS

研修医一年目のご紹介

RESIDENT INFORMATION



えがみ　こうき
江上　幸輝（高知大学卒）

医師を志したきっかけは？

本音を言うと、これといった大きなきっかけはありません。物心がついた頃にはなぜか外科医に憧れていました。それから夢が変わったことは一度もありません。



これが好き♥

車が好きです。休日はドライブしたり、洗車したり、カスタムしたりと、車のことを考えない日はないくらいです。

私、スゴイんです♪

車の運転への集中力は少し自信があります。大学６年間で20万キロは走りました。道が続きさえすればどこまでも走れる気がします。



研修への意気込みをひとこと★

周りの方々への感謝を忘れず、向上心をもって日々の研修に取り組みたいです。信頼される医師になれるよう、精一杯がんばります。

まつもと　れん
松本　錬（島根大学卒）

医師を志したきっかけは？

もともと生物学が好きで、その流れで医学にも興味を持ち始め、自分の好きな分野の知識を深め、人の役に立ちたいと思い医師を志しました。



これが好き♥

身体を動かすことが好きで、特にソフトボール、野球、ゴルフが好きです。中でも最近はゴルフに熱中していてベストスコア更新を目標に練習に取り組んでいます。

私、スゴイんです♪

大学時代には友人に誘われて登山にも挑戦しました。山陰では有名な大山と三徳山三仏寺投入堂に登頂できたことは自分でもすごいと思いますし、とてもいい思い出です。



研修への意気込みをひとこと★

２年間の研修では様々な診療科や救急の現場を経験し、医師としての基礎をしっかりと身につけたいと思っています。未熟な点ばかりでご迷惑をおかけすることがあると思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

認定看護師　出前講座を実施しました

地域医療連携課　野本　由記

令和8年7月16日出前講座を実施しました。

今回は、開設3年目の介護付き有料老人ホーム若草南を訪問し、田村収代皮膚・排泄ケア認定看護師（WOC）による「皮膚・創傷ケア」をテーマに講義を行いました。

若草南には入所者約60名、看護師・介護士・外国人技能生など多職種が協力しながら日々のケアにあたっておられ、施設で起こりやすい皮膚トラブルへの対応について学びたいとのご依頼をいただきました。

施設では、皮膚トラブルが発生した際には、訪問看護師や施設職員の方が連携して対応されているとのお話でした。講義では、皮膚トラブルは「できるだけ早期に発見すること」が重要であり、除圧や体位変換、スキンケアなど日常のちょっとした工夫が悪化の予防や褥瘡発生予防につながることを、実際の事例を交えながら分かりやすく伝えられていました。参加のみなさんは、熱心に耳を傾け、多くの質問も寄せられ、有意義な学びの機会となりました。

当院では今後も専門看護師・認定看護師による出前講座を通じて、地域の医療・介護施設の皆さまと連携しながら、安心・安全なケアの提供につながる支援を継続していきたいと思います。





きのこキッシュ（2個分）

栄養科



材　料

- 卵　30ｇ（Lサイズ1/2個）
- 牛乳　20cc
- ベーコン　20ｇ
- しめじ　20ｇ
- えのきだけ　20ｇ
- エリンギ　20ｇ
- ほうれん草　20ｇ
- 塩　0.2ｇ
- コショウ　0.1ｇ
- オリーブ油（サラダ油）　3ｇ
- ピザ用チーズ　6ｇ
- 餃子の皮（大判タイプ2枚）　20ｇ

1. 卵はわりほぐし、牛乳と混ぜ合わせておく。
2. ベーコンは1㎝幅にカット、きのこは食べやすい大きさにほぐしておく。
3. フライパンにオリーブ油を熱し、ベーコンときのこ、下茹でしたほうれん草を炒め塩コショウで味付けする。
4. 9号のホイルカップに餃子の皮をカップ状に入れ、3の具材をその中に入れる。
5. 卵液を加え、ピザ用チーズをトッピング。トースターで15分ほど焼く。
6. ホイルから出してお皿に盛る。

トースターで焼くと餃子の皮は、上のほうは「カリカリ」、下のほうは「もちっ」とした食感です。サイズの小さいホイルカップで作れば、そのままお弁当のおかずとしても使えます。きのこ類は食物繊維やビタミンDなどが豊富です。便秘解消、カルシウムの補給などが期待できます。

栄養量（2個分）▶エネルギー 262kcal　たんぱく質 12.2g　カルシウム 90mg　塩 0.9g

医療公開講座を開催しました

高知赤十字病院は高知新聞企業と共催で７月25日（土）、当院４階ホールにて今年度１回目の医療公開講座を開催しました。

132名の多くのご参加があり、辻和也第二内科副部長から「慢性腎臓病　高知で長く元気に暮らすために、知っていただきたいお話です」、岡本健診療部長・第一外科部長から「増えています大腸がん　いろんな治療法があります」と、疾患、予防、治療方法などについてお話をさせていただきました。

アンケートでは「知らないことばかりで勉強になった」「検診の大切さを感じた」「手術の動画がわかりやすかった」など感想をいただきました。

多くの方のご参加ありがとうございました。



辻 和也
第二内科副部長



岡本 健
診療部長・第一外科部長



高岡郡医師会生涯教育講演会を開催しました

毎年がんをテーマに医療関係者を対象に講演会を開催しています。今年度第１回は、高岡郡医師会と共催で、８月26日（水）18：30～19：30、須崎くろしお病院にて開催することができました。

門脇がん薬物療法看護認定看護師からは「治療継続を支えるがん薬物療法看護―チームで取り組む患者支援―」、消化器内科大家医師からは「膵臓癌を早く見つけて治すためにできること―当院での膵臓癌早期診断・治療への取り組み―」についてお話させていただきました。

参加された方からは、「チーム医療の重要さを感じた」「看護師の役割を知ることができた」「早期発見の大切さがよくわかった」など多くの感想をいただきました。

ご参加ありがとうございました。



高岡郡医師会長
北川　康介先生



門脇　知嘉子
がん薬物療法看護認定看護師



大家　力矢
消化器内科医師

高知赤十字病院 ホームページ
https://www.kochi-med.jrc.or.jp/

高知赤十字病院 Facebook
https://www.facebook.com/krch.kouhou/

高知赤十字病院 Instagram
https://www.instagram.com/kochinisseki/

Instagram はじめました

皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。
本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。
（088-822-1201（代表））

こうち＋クロス
9月号 Vol.96
2026・9
発行／高知赤十字病院
編集／高知赤十字病院院内サービス改善・広報委員会　高知市秦南町一丁目4番63-11号　TEL（088）822-1201　https://kochi-med.jrc.or.jp/